

人間心理論（認知心理学）読書用図書（2015年4月改訂）

はおすすめ。は広島キャンパス図書館になし（は一部欠）

1. 岩原 「記憶力」 講談社（現代新書）
記憶力について幅広く、わかりやすく解説した本。
2. 高木 「記憶のメカニズム」 岩波書店（新書）
生理学の立場から記憶のメカニズムをわかりやすく解説。
3. 池谷 「記憶力を強くする - 最新脳科学が語る記憶のしくみと鍛え方」 講談社ブルーバックス
脳科学の立場から記憶のメカニズムと鍛え方をわかりやすく解説。
4. シャクター 「なぜ、「あれ」が思い出せなくなるのか」 日経ビジネス人文庫
忘却やゆがみなどの7つの記憶のエラーについてわかりやすく解説。
5. 菊野 「嘘をつく記憶 - 目撃・自白・証言のメカニズム」 講談社
6. 高木 「証言の心理学 - 記憶を信じる、記憶を疑う」 中公新書
上の2つは記憶のゆがみが証言に与える影響を論じている。
7. 安西 「問題解決の心理学」 中公新書
人間の問題解決についての研究を幅広く、わかりやすく解説。
8. 市川 「考えることの科学」 中公新書
人間の思考についての研究を幅広く、わかりやすく解説。
9. 稲垣・波多野 「人はいかに学ぶか」 中公新書
人間の学習についての研究を幅広く、わかりやすく解説。
10. 苧阪 「もの忘れの脳科学 - 最新の認知心理学が解き明かす記憶のふしぎ」 講談社ブルーバックス
もの忘れをワーキング・メモリーの視点から、わかりやすく解説。